

下水道事業会計状況調書

I 事業概要

昭和56年度から公共下水道の整備に着手して以来、鋭意、事業の推進に努めており、老朽化した施設について改築更新を行うとともに、大雨災害の防除を目的とした浸水対策をすすめている。また、公共下水道による整備区域以外の区域については、生活排水対策の推進のため、住民の要望に基づき市が浄化槽設置を行う。

なお、平成26年度から下水道事業の健全経営を推進するための取組として、公共下水道事業及び個別排水処理施設事業に地方公営企業法の財務規定等を適用することとし、登別市公共下水道事業特別会計を廃止し、新たに登別市下水道事業会計を設置する。

II 事業内容

管渠整備については、前年度に引き続き、中央町の老朽化している雨水管渠について改築更新を行うとともに、浸水対策として新設工事を行う。併せて、若山町地区の雨水管渠についても、浸水対策として新設工事を行う。

若山浄化センターについては、平成2年の供用開始から23年を経過しており、老朽化した機械設備等の改築更新を継続して行う。

1 公共下水道事業

(款) 資本的支出	(項) 建設改良費	(目) 管渠建設費	
	管渠建設費	440,471 千円
	(1) 工事請負費		315,239 千円
	鉄南1号幹線等	延長 99m	
	若山町地区雨水管渠	延長 457m	
	登別東町污水管渠	延長 32m	
	(2) 委託料等		125,232 千円
(款) 資本的支出	(項) 建設改良費	(目) 処理場建設費	
	処理場建設費	244,548 千円

2 個別排水処理施設事業

(款) 資本的支出	(項) 建設改良費	(目) 個別排水処理整備費	
	個別排水処理整備費	12,960 千円